

Japanische Industrie-und Handelsvereinigung in Berlin e.V.

BERLINER LUFT

2006年第1号(2006年5月22日)

ベルリン日本商工会
編集発行人 岩崎正博
Charlottenstrasse 10
14109 Berlin
TEL:030-8036070
FAX:030-8038905

目次

- 事務局からのお知らせ(1ページ)
新会員紹介(Hoshi Coupe Berlin GmbH)(3ページ)
ビジネスお役立ち情報(4ページ)
ライデン(オランダ)のシーボルトハウスのご案内(5ページ)

事務局からのお知らせ

1. 滞在許可に関する
ベルリン外人局担当部署変更のご案内

ベルリン外人局より4月5日付商工会宛に、5月2日より外人局が組織替えとなった旨、通知がありました。日本人の窓口はEU諸国と同じ「Sachgebiet Z 2」となります。

日本人のコーディネーターもこれまでのFrau FunkeからHerr Hinderland(Buero: Raum 24, Tel.90269 4101, Fax. 90269 4299)に変わりましたので、ご注意願います。

2. 2006年度新役員のご紹介

2月28日に開催した商工会06年度定例総会には、多くの会員の方々にご出席頂き大変有難うございました。

同総会において、06年新役員として下記の方々のご就任が承認されましたのでご紹介します。

会長 岩崎 正博
Vorsatandsvorsitzender

Masahiro Iwasaki
副会長 小川 豊
Stellvertretender
Vorsatandsvorsitzender
Yutaka Ogawa
財務幹事 下山田 淳
Schatzmeister
Jun Shimoyamada
幹事 竹谷 宗久
Vorstandsmitglied
Munehisa Takeya
幹事 原田 俊男
Vorstandsmitglied
Toshio Harada
幹事 久保田 孝
Vorstandsmitglied
Takashi Kubota
幹事 松田 香
Vorstandsmitglied
Kaori Matsuda
監事 阿部 道雄
Aufsichtsrat
Michio Abe
事務局長 松野 武男
Geschaeftsfuehrer Takeo Matsuno

3. 第16回ソフトボール大会開催

5月6日にソフトボール大会が開催され、全6チームによる熱戦が繰り広げられ、記者会チームが悲願の初優勝を遂げられました。

ご参加いただいた多くの方がたにお礼を申し上げます。

また、参加した子供たちへの参加賞をご寄贈いただいた ANA 様、**？社**様にお礼を申し上げます。

今回もベルリンネットの**六草**様から熱戦譜をご寄稿いただきました。

おあつらえ向きの快晴！

恒例の商工会主催の春のソフトボール大会が行われた。通算で16回になる今大会、これまでのテゲルの会場から、ベルリンは南西部、ランクヴィッツ区にある運動場に場所を移し、「記者会」、「研究者+ソニー」、「大使館」、「ジェットロ+タクマ」、「補習校」、「日本人学校」の計6チームが熱い戦いを繰り広げた。

チーム名は団体や会社やお役所や学校にはなっているが、そこはそれ、いまこのときに同じベルリンに住む者同志のよしみ、初めから混成チームだったり、それでも人数が足りなければよそから選手をレンタルというおおらかな編成である。

ご夫婦、ご家族ぐるみでの参加も多く、昼食をはさんで子供たちの交流試合も行われ、歓声の溢れる春爛漫のグラウンドは何やら日本の住宅地の真ん中にあるかのような錯覚すら起こさせた。

結果は、記者会チームが優勝、研究者+ソニーチームが準優勝を飾り、商工会および協賛各位から表彰を受けた。もちろんがんばった子供たちにもうれしい「参加賞」が。

優勝の「記者会」チーム

記者会チームは準決勝で下馬評の高かった大使館チームとの乱打戦を制し(18対11)、さらに決勝では、前回健闘した研究者+ソニーチームを地力で引き離しての文句なしの優勝(12対4)。投手力、守備、打撃とどれをとっても一頭地抜けていた。

お集まりの方々には滞在の長い人(重鎮)、短い人、それなりの人、とそれぞれで、日頃の暮らしぶりもまた区々別々ではあるが、あちこちで「いつからこちらへ？」とコミュニケーションの輪が広がっていた。やっぱりスポーツを通じた交流はいいものである。

4. アスパラガス見学・試食ツアーの開催

毎年ご好評を頂いているアスパラガス栽培見学・試食ツアーを5月12日開催しました。抜けるような青空の当日、**総勢 名**の方々がベーリッツ市を訪問、栽培や収穫風景を視察の後、今が旬のアスパラガスの試食に舌鼓をうたれました。**開催のご協力を頂いた「大都会」から当日配布されたアスパラガス料理のレシピを会報に同封いたしますので、是非おためしください。**

5. 在日ドイツ日本国大使館ホームページのご紹介

在ドイツ日本国大使館のホームページには「領事情報」「安全情報」「各種生活情報」等々、外国で生活するうえで必要不可欠な情報が掲載されております。

詳細は下記のアドレスにアクセス願います。

<http://www.de.emb-japan.go.jp/nihongo/>

6. 事務局報告

2月14日

Hoshi coupe Berlin GmbH 入会

2月24日

商工会 06年度定例総会・懇親会

3月07日
Barbara von Pirch氏(不動産会社)来
事務所
3月10日
日系会員へ定例総会議事録(和文)・会員
名簿を配布
3月15日
・日本シェーリング亀井氏 来事務所
・ベルリン日本人国際学校卒業式 小川副
会長出席
3月21日
日独センター田中均氏講演会 松野
3月30日
外人局局長と面談 松野
3月31日
ベルリン日本語補習授業校卒業式 松野
4月01日
ベルリン中央学園補習校卒業・入学式
松野
4月06日
ベルリン日本語補習授業校入学式 松野
4月7日
独系会員へ定例総会議事録(独文)・会員
名簿を配布
4月10日
WISTA-MANAGEMENT GMBH 入会
4月11日
ベルリン日本人国際学校入学式 岩崎会長
4月12日
浅田氏求職 来事務所
5月6日
第16回ソフトボール大会開催
5月12日
アスパラガス見学・視察ツアー開催

各学校の日程

・ベルリン日本人国際学校
夏休み 7月8日~8月19日
・ベルリン日本語補習校
運動会 6月18日(雨天の場合 6月
25日)
夏休み 7月8日~8月19日

・ベルリン中央学園補習校
運動会 9月2日
夏休み 7月5日~8月24日

新会員紹介

新たに商工会にご加入いただいた Hoshi
Coupe Berlin GmbH 様をご紹介します。

この度、ベルリン日本商工会に入会させ
て頂きました、Hoshi Coupe Berlin
GmbH と申します。

弊社は、日本人経営による美容室として、
24年前、New York に第1号店をオーブ
ンしてから、現在、New York に4店舗、
Paris に2店舗、そしてここ Berlin に1店
舗で展開しております。

オーナーでありますホシ・マサコは、
「アートとヘアーの融合」というテーマに
こだわり続けて、ここまでやって参りまし
た。サロンにおきましては、お客様へのき
め細やかなサービス、最先端の技術に裏付
けられたヘアーデザインを常に提供できる
よう、日々努力致しております。幸いにし
て、New York、Paris に加えてここ
Berlin にお店を持つことができたことを、
大きな喜びと感じております。

5年目というひとつの区切りを、今後さ
らに発展させていく契機とすべく、今ま
で以上に、スタッフ一同精進していきたい
と存じますので、今後ともご指導、ご鞭撻
を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ
ます。

Hoshi Coupe Berlin GmbH

代表: Hoshi Masako

Europe General Manager: Ohno

Hiroshi

住所: Garrisonkirchplatz 2 10178

Berlin

Tel: 030 2789 1720

Fax: 030 4005 5966

ビジネスお役立ち情報

ユーロの国際的利用が進む - 輸出入のユーロ建て比率は 5 割超 -

1999年の導入以降、ユーロの利用が着実に進んでいる。ユーロ圏諸国が輸出入にユーロを利用する割合は5割を超えた。金融面でも、外国為替取引や外貨準備での利用が定着するとともに、ユーロ建社債などの発行も増加している。

欧州中央銀行（ECB）が発表した調査結果によると、ユーロ圏諸国では域外との貿易決済（または契約）でのユーロの利用が増加している。財貨・サービスの輸出・輸入でのユーロ建て比率は、2001年から04年にかけて、いずれの国でも上昇している（表参照）。

表1 ユーロ圏諸国の域外取引におけるユーロ建て比率 (単位:%)

	輸 出				輸 入			
	財 貨		サ ー ビ ス		財 貨		サ ー ビ ス	
	2001	2004	2001	2004	2001	2004	2001	2004
ベルギー	46.7	57.7	63.8(注1)	71.2	47.2	55.5	60.1(注1)	68.6
フランス	47.1	52.7	40.0	40.2	44.4	45.3	43.3	48.3
ドイツ	49.0(注1)	61.1	-	-	48.0(注1)	52.8	-	-
ギリシャ	23.5	44.3	11.3	14.1	29.3	40.6	15.3	22.7
イタリア	52.7	59.7	50.7	68.0	40.8	44.5	49.9	68.9
ルクセンブルク	31.5(注1)	62.7	40.4(注1)	42.6	31.6(注1)	49.4	28.5(注1)	30.5
ポルトガル	43.8	57.6	37.4	54.9	53.6	58.8	63.6	72.2
スペイン	52.0	62.6	52.9	64.5	49.7	61.1	45.1	56.8
平均	45.6	57.3	42.4	50.8	43.1	51.0	42.5	52.6

〈注1〉2002年

〈注2〉ドイツのサービスについてはデータなし

〈出所〉欧州中央銀行(ECB)

ちなみに、日本の05年上半期の輸出と輸入の円建て比率はそれぞれ39.3%、24.1%となっている。

< 社債発行などでもユーロの利用が増加 >

同調査によると、企業の資金調達やユーロ圏外銀行の資金調達・融資などの金融面でも、ユーロの利用が広がっている。社債など債券の国際的な発行（居住地通貨以外の通貨による発行）による資金調達については、04年第3四半期から05年第2四半期の1年間のユーロ建債券の発行額は2,770億ドル（ネットベース）に達し、米ドル建債券の発行額（2,310億ドル）を上回った。その結果、ユーロ建債券の割合（残高ベース）は、04年6月の30.7%から05年6月には31.5%に上昇した。米ドル建債の割合は44%、円建債は8%であった。なお、新規EU加盟国やアジアなどの新興市場国での発行が増えたものの、新規発行の44%は英国、15%は米国であった。

銀行のクロスボーダー取引（国境を越える取引）については、ユーロ圏外の銀行によるユーロ域外へのユーロ建貸出しの割合は04年第1四半期の4.9%から05年第1四半期の6.2%へ、ユーロ圏外の銀行の域外からのユーロ建預金の受け入れが04年第1四半期の7.7%から05年第1四半期の8.4%へ、それぞれ増加した。外国為替取引や外貨準備でのユーロのシェアは、おおむね安定している。外為取引でのユーロの割合は微減して43%となった（米ドルは90%、日本円は20%、注）。各国が保有する外貨準備におけるユーロの割合は、微減の24.9%であった（米ドルは65.9%、日本円は3.9%）。

表2 ユーロの利用状況

（単位：%）

	今回調査		前回調査	
	割合	時期	割合	時期
国際的な債券発行残高	31.5	2005Q2	30.7	2004Q2
ユーロ圏外の銀行からのユーロ圏外への貸出	6.2	2005Q1	4.9	2004Q1
ユーロ圏外の銀行へのユーロ圏外からの預金	8.4	2005Q1	7.7	2004Q1
外国為替取引	43	2005年6月	44	2004年6月
外貨準備	24.9	2004年末	25.3	2003年末

（出所）表1に同じ

（注）外国為替取引においては1つの取引で2つの通貨が計上されるため、合計は200%となる。

（出所）ジェットロ

ライデンのシーボルトハウス（会員関係者からのご紹介です）

心から日本を愛したシーボルト、日本を離れ、日本に思いをこめて過ごし、日本研究を続けたシーボルトの旧宅が、オランダ最古の大学の町”ライデン“にて皆様をお待ちしております。

作家・司馬遼太郎が最も愛した町“ライデン”。そこには、今でも自由と知識と歴史の運河と川が流れている。この運河沿いに150年前、シーボルトが、400年前には絵画の巨匠レンブラントが住み、世界最初の市民による市民の町と大学、そして、日本学科が築かれた。司馬遼太郎は“街道をゆく「オランダ紀行」”の中で次のように語っている。「どうも、この町がすきである。17年前、オランダに来たときはわずか二泊しかしなかったため、ライデンの町までドライブだけで我慢することにした。ひとりで、このレンガ造りの町にきた。だから、自分で見つけたような愛着を感じた。ライデンの町はいい。」

「ライデンは大学の町ながら、植物園のまちとしても知られている。シーボルトは実はオランダ人ではなくドイツ人だった。大学を卒業して、いったん開業したシーボルト青年は、博物学的冒険への野望がおさえがたく、未知の国とされた日本にあつい気持ちをもった。」

開国の時期で大混乱の日本を自らの愛情で、一方的に日本の権利を主張するアメリカやロシアを相手に日本の隠れた外交官として、愛する妻「たき」と娘「おいね」（日本初の女性医師）が住む日本を守るため一生懸命に外交交渉を行った。

シーボルトハウスに入るとそのシーボルトが日本を愛した魂を感じとれる。シーボルトが丹精込めて収集したアジサイなどの植物、動物の標本の山、鎖国の当時、日本からの持ち出しが禁止されていた日本の地図の数々が展示

され（展示の入れ替えがあるので展示物は前もってメールまたは電話で確認してください。）中には河童（？）のはく製までもシーボルトは持ち帰った。

T:31-(0)71-5125539 F: 31-(0)71-5128063 info@sieboldhuis.org

www.sieboldhuis.org

知らなかった日本の発見、歴史への冒険、未来への夢がシーボルトハウスに満ち溢れ、日本と西洋の架け橋となり訪れる皆様方に、限りない夢と希望、知識と好奇心、歴史の重さと交流の大切さを与えます。

日本をヨーロッパに広めたシーボルト！

私たちもヨーロッパを日本に広めましょう！

21世紀の船出は日本とオランダの交流400周年祭で始った。そのハイライトが天皇皇后両陛下のオランダご訪問で、頂点にたったイベントが天皇皇后両陛下とオランダのベアトリクス女王の大学の町、ライデンのシーボルトハウスを訪れることであった。両陛下もベアトリクス女王もシーボルトハウスにこのほどご関心を示され、予定時間を上回るほどご熱心に展示物を拝見なされた。

シーボルトハウスはその後2005年3月に正式オープニングを終え、数々の日本と欧州の交流の場としても利用され、先日はオランダを訪れた小泉総理とバルケネンザ・オランダ首相との日蘭政治会談もこのシーボルトハウスで行われた。

レンブラント生誕400周年の機会に是非、グループでまたは個人で、学校の授業の一環として、国際交流の場、学術研究の場、好奇心と趣味の場として、司馬遼太郎が愛し、数々の国際舞台となったシーボルトハウスをお訪ね下さい。

“司馬遼太郎が愛したライデン（シーボルトハウス）とアムステルダムの日間”

司馬遼太郎は語る。「オランダ人がもう少し自己宣伝に長けていたら、戦国時代の“ライデン市民蜂起”こそがアメリカの独立戦争やフランス革命に先駆け、世界の市民国家の誕生の地として世界の自由や民主主義を語る人々の巡礼の場所になっていた筈だ。」日本に関していえば、オランダ人の自己宣伝下手が、明治維新後、江戸の鎖国時代唯一の西洋人として250年も友で会った仲間が今では、長崎にハウステンボスがあるにせよ、殆ど無名に近い。アムステルダムがロンドン、ローマ、パリに続いてヨーロッパで4番目か5番目に観光客が多いところという日本人は信じない。アムステルダムには、レンブラントやフェルメール、ゴッホやアンネ・フランクがいる。その上、北のベニスと称され17世紀のノスタルジックな町並みを包む緑と運河と跳ね橋、そこを走る自転車や馬車がよい。やくざが牛耳る犯罪とギャンブル（カジノ）、公娼制度、ソフト・ドラッグ（マリワナ）、ホームレス、社会の弱者は、オランダでは国家の管理下にあり、旅行者へ別な大醍醐味を与える。

このアムステルダムから車や電車で25分、オランダ、第二の都市ロッテルダムとの中間に学生の町がライデンがある。

司馬遼太郎は続ける。「17世紀に、オランダ人一般が自律主義や合理主義、あるいは近代的な市民精神を持つにいたるや、かれらが商業民族であったことと、新教の浸透による。この市民精神を持ったオランダにあらゆる理由で迫害された人々が（ユダヤ教徒、新教徒、イスラム教徒など旧教以外の皆が）このオランダに自由と自律を求めてきた。メイフラワー号でアメリカに渡った清教徒たちもこのライデンで亡命生

活をし、自由と平和、自律と市民精神を学んだ」。

ライデンにはシーボルトが日本から持ち帰った物を研究し、保管する世界最初の民俗学博物館やシーボルトの持ち帰った鉱物や動物の標本がある世界で最もユニークな自然史博物館、それにシーボルト庭園と呼ばれ、2000年に天皇皇后両陛下が場ベアトリックス女王とオープンしたシーボルト温室がある。

ライデンには9の有名な博物館を持つ大学の町であるが、忘れていけないのはシーボルトハウスから100mも離れていないレンブラントの生家跡、パン屋のお父さんが粉引きをしていた風車とそこへ渡る跳ね橋（レンブラントの風車と跳ね橋）、レンブラントのライデン時代の絵画が展示されているレーケン・ハル市立美術館、榎本武揚や赤松大三郎、西周、津田真道の幕末の最初の留学生の痕跡（留学生が驚いた風車博物館・デ・ファルク）、シーボルトが作ったともいえる世界最初のライデン大学日本学科、日蘭400周年の数々の記念碑や記念物、世界の市民革命の発祥地・ブルフトの砦、アメリカ開拓の発祥地・ピリグリム・ファーザーズの家、ライデンの運河めぐり、世界最初の新教の大学など司馬遼太郎が愛し、シーボルトが生涯の地と定めたライデンの奥は深い。

シーボルトとレンブラントのライデンの1日 モデルコース

- 09:00 アムステルダム、ロッテルダム発
- 10:00 シーボルトハウス
- 11:45 シーボルト庭園〔軽食〕
- 12:45 ピリグリム・ファーザーズの家
- 13:15 市民革命発祥の地 ブルフトの砦
- 14:00 風車博物館 デ・ファルク
- 15:00 民俗学博物館かレンブラントの初期の作品があるデ・ラーケンハル市立美術館
- 16:00 レンブラント生家跡、レンブラントの風車と跳ね橋